

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 宮城県富谷市立日吉台小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒981-3101
宮城県富谷市日吉台1-13-1

E-mail hiyoshisyou@hello.odn.ne.jp
Website <http://www.town.tomiya.miyagi.jp/school/top.aspx>

幼児児童生徒数 男子 279 名 女子 273 名 合計 552 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

日吉台小学校 ESD 活動報告

当校は、自分の生活と地域の事象との関わりについて、課題を見付け、仲間と協力しながら自分の生き方を見つめようとする児童の育成を活動テーマとして、ESD の実践を通して自分の生活と地域の事象との関わりについて、課題を見付け、仲間と協力しながら問題の解決に積極的に取り組もうとする児童の育成を目標とした。

具体的には、食育、防災、環境、地域を柱に、①食育に係わる活動、②防災に係わる活動、③環境に係わる学習、④地域に係わる学習を行った。

① 食育に係わる活動

【3年】「ブルーベリー博士になろう」の活動

①富谷市で作られている食べ物のうちブルーベリーを取り上げ、調べたことをまとめて、発表会を行った。

②子供たちは、ブルーベリーについて自分の興味のあるテーマごとにグループになり活動した。「ブルーベリーの歴史」「ブルーベリーのスイーツ」「富谷市のブルーベリー」「ブルーベリーの育て方」「ブルーベリーの種類」等テーマも多岐にわたり、発表会では、学んだことや感想などを伝え合うことができた。

②防災に係わる学習

【4年】 「学校防災マップを作ろう」の活動

①自分たちが普段生活している学校の中を「防災」という視点で見直し、防災機器の場所や安全な避難経路についてなどをまとめた「学校防災マップ」を作成した。

②「3階」「2階」「1階」「体育館」の4つのエリアをグループで分担し、取材活動で得た情報をもとに、模造紙に「防災機器の場所」「場所の特徴」（暗い、狭いなど）の情報を書き込み、有事の際に活用することができるように、目につきやすい場所に掲示をした。

③環境に係わる学習

【5年】 「ゆめの森を守り隊」の活動

①学校にある「ゆめの森」を宮城県森林インストラクターの協力により、探検しながら、自分たちにできることを考えた。

②7つのグループに分かれ、森林インストラクターさんたちの協力をいただきながら、下記の活動を行った。

- 看板作り ○枝打ち・伐採 ○カブトムシハウス作り ○山菜園作り
- 遊歩道の整備 ○樹名板作り ○巣箱・バタフライガーデン作り

④地域に関わる学習

【6年】 「富谷の町作り～コミュニティーデザインについて考える～」

①国語の単元「町の幸福論」をうけて、富谷市の町作りについて、広報や地域の情報紙などから、どのような取組がなされているのかを調べた。また、どんな市になって欲しいかについて考えた。

②社会の単元「私たちの願いを実現する政治」において、さらに、自分たちが思い描く「未来の富谷」について、現在行われている様々な取組や活動が、今後どうあって欲しいかなどをまとめていく予定である。



3年 食育に係わる活動



4年 防災に係わる活動



6年 地域に係わる活動



5年 環境に係わる活動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (地域)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・それぞれの課題に応じた図書
 - ・キーワードに掛かったホームページ
- など。
- (児童の活動のため、具体的な名称は不明)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各学年の教育課程において、ユネスコスクールとしての活動に関わりのある教科等を洗い出し、その中で主に取り組んでいく内容について、学習材となる「ひと・もの・こと」を定め、主なねらいを明確にして取り組んでいる。また、それぞれの活動について、活動の評価の観点と方法を示し、その評価に従って良いところは継続し、効果のなかったところはどのように改善していくかなどを考察するなどして、指導方法の工夫改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校全体で組織的に取り組むために、ユネスコスクールの活動に関してのチーフを教務主任が行い、総合学習の主任や各学年主任と連携を図り、必ず複数で取り組むようにしている。また、報告書等の作成においても、分担を決めて作成し、できたものは全職員で共有するようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校では、ESD の活動に関して総合学習を柱に取り組んでいる。そのため、児童の疑問や意欲をもとに、様々な調べ学習などを通してまとめている。その過程において、作品の評価や友達や教師による観察の評価などを通して、学校全体の評価とつなげている。成果として、多くの情報をいろいろな手段を使って集めることができているが、その情報を自分の言葉でまとめ切れていないという課題が感じられた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

5年生の児童は、「ゆめの森を守り隊」の活動を通して、自然や環境に対して興味・関心を持つようになり、自分たちの森をもっと良い森にしていきたい、来年の5年生にも活動を引き継いでもらいたいという意識が高まった。それで、4年生に向けての発表会を行い、次年度に向けてどうい活動ができるかなど引き継いでいくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

5年生のゆめの森の活動は、森林インストラクターという外部団体の協力を得て進めてきた。この団体は、木に関係する様々な知識と経験を持っている方々が多く、子供たちも自分たちだけでは経験できないことや自然の中でしかできない学習を進めることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

現在、本校では直接他市町村との交流を進めているわけではないが、市内13校の取組の発表会や外部講師を招いての講演会などを通して、今後の参考にしている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校の所属している小学校は、市内13校の小中学校でユネスコスクールの活動に取り組んでいる。そのため、年に数回、中間報告会など、近隣の学校の活動を見聞きすることができ、大いに参考になっている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本校においては、次年度の活動として今年度の活動をベースに、新たな担任及び児童との話し合い等を通して具体的に取り組む内容を決めている。

次年度の計画は、以下の内容である。

【現時点でのテーマ】

- ・自分の生活と地域の事象との関わりについて、課題を見付け、仲間と協力しながら自分の生き方を見つめようとする児童の育成

【取り組む内容】

- 3年 食育 ブルーベリー、酒、スイーツ、給食センター
- 4年 防災 自主防災会、市防災部局、防災マップ
- 5年 環境 田んぼ、ゆめの森の自然、森林インストラクター
- 6年 地域 町内会、公民館、出張所、議員、提案書